



平成20年11月12日

各位

会社名 日本水産株式会社
代表者名 代表取締役社長 垣添直也
コード番号 1332
問合せ先 取締役総務部長 佐藤高輝
(TEL. 03-3244-7181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年8月5日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(連結)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	260,000	4,500	4,000	1,000	3円62銭
今回実績(B)	259,043	2,503	1,115	△2,069	△7円49銭
差額(B-A)	△956	△1,996	△2,884	△3,069	△11円11銭
差額率(%)	△0.4	△44.4	△72.1	—	—
(ご参考) 前中間期実績(平成20年3月期)	267,691	6,206	5,827	1,238	4円48銭

2. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(連結)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	530,000	13,500	12,000	5,000	18円09銭
今回修正予想(B)	520,000	9,000	7,000	2,000	7円23銭
増減額(B-A)	△10,000	△4,500	△5,000	△3,000	△10円86銭
増減率(%)	△1.9	△33.3	△41.7	△60.0	△60.0
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	533,970	7,231	6,758	9,390	33円97銭

3. 修正の理由

【当第2四半期累計期間】

国内において、水産および食品事業ともに堅調に推移しましたが、北米において、水産物の販売数量が減少し、個人消費の落ち込みや原材料価格の高騰などの影響により、業務用水産調理冷凍食品会社の業績不振が続きました。また、南米では、チリの鮭養殖会社において魚病の発生などの影響により生産数量が減少し、アジアにおいても、中国の食品加工会社で日本向け販売の不振による業績の悪化がありました。

上記の影響より、平成21年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値を下回りました。

【通期見通し】

通期においても引き続き北米の業務用水産調理冷凍食品会社の不振やチリの鮭養殖会社生産計画の大幅な減少が影響するとともに、中国の食品加工会社の日本向け販売が苦戦する見通しですので、業績予想を修正しております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上